

## 一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 30 年 8 月 22 日  
東村山市議会議長 あて

議席番号 2 番  
質問者 島崎よう子

### 記

#### 1. 「緑あふれる東村山」を持続できるものに

丁寧に足を運び実態調査に基づきまとめられた「公共の緑の植生管理のガイドライン」が策定されて2年が経過した。市内随所で楽しんでいるお花見は、桜の老朽化が心配され始め、大きくなり過ぎたケヤキや強剪定された樹木に何とかならなかつたものか、という市民の声が聞かれる。が、この「緑の植生管理ガイドライン」が機能すれば、気持ち良い緑が残っていけるのではないかと期待して質問します。

(1) 緑がどれくらいあるのか押さえておきたい。緑地面積と緑被率について50年前、40、30、20、10年前、現在の状況を伺う。

(2) アクションプランに、早期にやることとして、「危険木の除去」とあるが何本くらいあったのか。除去は終えたのか。

(3) 強剪定は必要最低限度に留めること、安全確保や隣接する住宅へ配慮しつつ樹種本来の樹形を保つことが繰り返し述べられている。

- ① 特に強剪定は予算と関係するが、ガイドライン策定後、考慮されているか。
- ② また、例えば街路樹は邪魔にならない程度、という判断は難しいのではないかと。最終樹高 何 m、道路側の最低枝の高さ 何 m 以上、歩道側 幅 何 m までを決めることについてはどういった検討をしたのか。設定を設けることについての見解を伺う。

(4) 1 本ごとのカルテ作成 何時植え、剪定実施日などを作る必要はないか。

(5) 担当所管毎のガイドライン活用状況、課題および以下の点について伺う。

① みどりと公園課

植生管理事業者やシルバー人材等との「ガイドライン」共有化は行ったか。

② 道路河川課

A 野火止用水については、近年東京都も市も力を入れているが進捗を伺う。

B 空堀川については廃河川敷の件しか触れていないが、昨年3月議会で「空堀川の植生管理」について一般質問し、東村山市としても管理者である東京都に適正な樹木の剪定を働きかけてほしい旨、質問したがその後の取り組みを伺いたい。

③ 教育総務課

各ゾーンでの樹木健康度の状況によると学校においては、総体的に「悪い」および「問題あり」が多いが、これらに向けて取り組み方針があるのか。

## 2. H30 年度目標管理シートから

(1) H30 年度目標管理制度 各部目標管理シート(目標設定版)今年7月に作成されたものが配布された。毎回、結果報告版は翌々年の冬頃に公表されているかと思う。各部としての目標を掲げ、具体的な項目を抽出する取り組み方、評価および成果・課題のまとめ方等時間軸を含めて説明いただきたい。

(2) 補助金見直しガイドライン策定は、経営施策部行政経営課の項目の一つとなっている。

3月議会では、ガイドライン骨子素案の作成中であり、具体的な検証のあり方についての設計を進めていくとの答弁であった。進捗状況を伺う。

(3) 借地料のみなおし

H27年度までには入っていたかと思うが、目標が達成されていないにも拘らず、削除されているのはどういった考えからか。

(4) 情報公開条例の公開手数料無料化

- ① 公開手数料の無料化を求める陳情が出され、総務部は「東京都の手数料を無料とする条例改正を踏まえ公開手数料の見直しを検討したい」という答弁があり、全会派一致で採択された。しかし、シートに掲載されていないのはなぜか。手数料の見直しは行革の一つと思うが。
- ② 現在の検討内容を伺う。

### 3. 災害を「我が事」にするために

近年の地震、大雨等による災害多発から東村山市にとってもリアルな問題になってきた。しかし、自分は大丈夫という根拠ない自信があって、我が事化するのはむずかしい。防災訓練をはじめ諸々のチャンネルを活用して啓発を広げる必要性を痛感している。

(1) 一昨年の熊本災害はじめ西日本豪雨災害時の避難生活の報道を見るにつけ、地域格差は大きいが復旧までに相当日数かかっている。当市において、災害規模によるが上下水道、ガス、電気の復旧はどれくらいと想定しているか。

(2) 避難所について

- ① 避難者数の想定と避難所の収容力について、考え方を含め詳細に伺う。
- ② 熊本市が避難者が避難所を利用した理由のアンケートを取っているが、当市の想定と違うことはあるか。

(3) 近年の大規模な災害に遭われた自治体の対応から参考にするのはなにか。